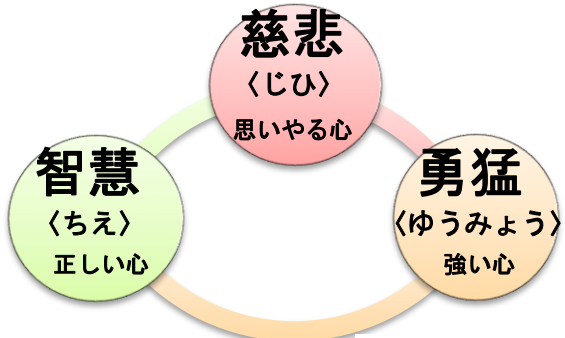


下野三楽園養育3つの柱



さんらくえん通信

発行責任者：鈴木常元 編集責任者：藤原崇夫
編集：下野三楽園編集委員会 **第41号**



令和初 卒園生を送る会

三月十四日、今年度中に高校を卒業し、本園を退所予定の子どもたちを祝しての送る会が、理事長先生・全職員・全児童が参加して行われました。

この四月から、それぞれの新たな道を歩み始める三人の子どもたちの、これからの長い人生に幸多き事、願ってやみません。

花まつり

四月八日はお釈迦さまの誕生日。花に囲まれて、天地を指さしている姿のお釈迦さまに、みんなで甘茶をかけてあげる。

お釈迦さまが花に囲まれているのは、インドの北、ルンビニーの花園で生まれたから。

お釈迦さまが天地を指さしているのは、生まれてすぐに七歩歩いて「天にも地にもわれひとり」と言われたときの姿。その言葉を「世界で一番偉くて尊い人が今、生まれた」という意味だと思っている人が多いけれど、そうではなく「一人ひとりが尊い」「誰もがかけがえない命」という、全ての人に向けられた言葉。

お釈迦さまに甘茶をかけてあげるのは、その日、お釈迦さまの誕生を喜んだ天の龍たちが、空から良い香りの雨(香湯)を降らせたから。

でも、それはお釈迦さまだけじゃない。誰だって生まれたときはそうだった。生まれたときは誰だって花に囲まれて、空からは良い香りの雨が降っていたはず。目には見えなかったかも知れないが、誰もがみんなそうだった。

親御さんは幸せだった。世界は明るい光に満ちていた。誰もが世界中から祝福されて生まれてきた。そうでなければならぬ。もし、不幸にして、祝福されなかった命があったとしても、それでも、生まれてきたかけがえない命には、いろいろな人が、次から次に、寄ってたかって、頭から「愛情」という甘茶をかけるにきて、命を育ててくれた。

四月八日は、自分の命も自分の命ではない命も祝福する日。全ての命に甘茶をかける日。



二月二日、県内の児童養護施設の子どもたちによる発表会の児童文化祭が開催されました。
 本園からは小中学生を中心に和太鼓、中高生有志によるダンスが披露されました。日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し、子どもたちがいつも以上に輝いて見えました。



ご支援及びご協力、誠にありがとうございました。

(R2. 1. 28 ~ 3. 20 敬称略、順不同)

田口光英 (日光市) / 阿久津明子 (宇都宮市) / 高橋則子 (宇都宮市) / 半田志津江 (宇都宮市)
 / 菊地自動車 (宇都宮市) / 栃木トヨペット (宇都宮市) / 間屋口健次 (宇都宮市) / 林香君 (芳賀町)
 / 日光山輪王寺 (日光市) / 栃木県生活衛生同業組合 (宇都宮市) /
 とちぎユースアフターケア事業協同組合 (宇都宮市) / 天台宗務庁 (滋賀県) / 日光市花石町自治会 (日光市)
 / 栃木県天台仏教青年会 (宇都宮市) / ひまわり会 (宇都宮市)

〒321-2105 宇都宮市下小池町 194
 TEL : 028-669-2131 FAX : 028-669-2241
 Email: shimotsuke-sanrakuen @nifty.com
 http ://www.shimotsuke-sanrakuen.net

ご支援のお願い

本園では子どもたちの学習指導、交流、環境美化等様々なボランティアのご協力を求めています。皆さまやお知り合いの方々のご紹介等いただけたら幸いです。よろしくごお願い致します。

園長 藤原 崇夫